

2020年度

枚方市立第四中学校
1年2学期シラバス集

進路指導部

1. はじめに

大阪府では、各評価が目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。これに伴い、評価の規準についてもより明確になっています。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭科・外国語の9教科)について、観点(国語は5観点、その他は4観点)があります。

各教科のそれぞれの観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価(表1)から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の評定(表2)をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、枚方市内統一の評価基準となります。

表1

| 観点別評価 | 目標到達度 | |
|-------|-----------|-------|
| A | 十分満足できる | 75%以上 |
| B | おおむね満足できる | 40%以上 |
| C | 努力を要する | 40%未満 |

表2

| 総合評定 | 目標到達度 | |
|------|----------------------|-------|
| 5 | 十分満足できるもののうち、特に程度が高い | 90%以上 |
| 4 | 十分満足できる | 75%以上 |
| 3 | おおむね満足できる | 40%以上 |
| 2 | 努力を要する | 20%以上 |
| 1 | 一層努力を要する | 20%未満 |

評価の例(観点4つの場合)

| | 観点1 | 観点2 | 観点3 | 観点4 | 評定 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|
| 〇〇くん | A | A | A | A | 5 |
| ●●くん | A | A | A | A | 4 |
| △△さん | A | A | A | B | 5 |
| ▲▲さん | A | A | A | B | 3 |

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

| 入試 | 対象学年 | 比率 |
|------------------------|-----------|----------------------------|
| 平成30年度入試以降 (現1~3年生) | 第1学年~第3学年 | (第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3) |

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切に、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進捗等により、多少変更する場合があります。

国語【1年2学期】

| | |
|-------------------------------|--|
| 教材の種類・単元名 | 到達目標 |
| 随筆：字のない葉書 | <ul style="list-style-type: none"> • ものの見方や考え方を広げる。 • 目的に応じて読み取る。 |
| 説明文：食感のオノマトペ 玄関扉 | <p>『食感のオノマトペ』</p> <ul style="list-style-type: none"> • 図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。 • オノマトペの意味や効果について、自分の考えをもつ。 <p>『玄関扉』</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事実と意見と理由を読み分ける。 • 文化の違いについて自分の考えをもつ。 |
| 古典：竹取物語 | <ul style="list-style-type: none"> • 歴史的仮名遣いや古文独特のリズムに注意しながら音読し、内容をとらえる。 • 現代とのつながりを考えて読み、物語のおもしろさについて、自分の意見を持つ。 |
| 物語文：少年の日の思い出 | <ul style="list-style-type: none"> • 場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。 • 作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えを持つ。 |
| 文法：名詞・動詞・形容詞・形容動詞 すらすら基本文法 | <ul style="list-style-type: none"> • 名詞、動詞、形容詞、形容動詞について、それぞれについて正しく理解する。 |
| 書写：硬筆・毛筆 | <ul style="list-style-type: none"> • 基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握する。 • 筆使いや字形を正しく把握しようとしている。 |

| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
|-----------------|-----|---------------|
| 国語への関心・意欲・態度 | 20% | 提出物・ノート・授業態度 |
| 話す・聞く能力 | 20% | 定期テスト・発表 |
| 書く能力 | 20% | 定期テスト・作文・作品等 |
| 読む能力 | 20% | 定期テスト・暗唱・音読 |
| 言語についての知識・理解・技能 | 20% | 定期テスト・小テスト・書写 |

社会【1年2学期】

| 分野 | 単元 | 到達目標 |
|----|---------------|---|
| 地理 | 世界の諸地域① | アジア州の地域を大観し、その上で多様性と経済発展を主題として設定し、地域的特色を理解する。 |
| | 世界の諸地域② | アフリカ州の地域を大観し、その上で人々の暮らしとその変化を主題として設定し、地域的特色を理解する。 |
| | 世界の諸地域③ | ヨーロッパ州の地域を大観し、その上で地域統合を主題として設定し、地域的特色を理解する。 |
| | 世界の諸地域④ | 北アメリカ州の地域を大観し、その上で世界に対する影響力を主題として設定し、地域的特色を理解する。 |
| | 世界の諸地域⑤ | 南アメリカ州の地域を大観し、その上で開発と環境を主題として設定し、地域的特色を理解する。 |
| | 世界の諸地域⑥ | オセアニア州の地域を大観し、その上で他地域との結びつき主題として設定し、地域的特色を理解する。 |
| | 世界のさまざまな地域の調査 | 世界のさまざまな地域について、その特色をとらえる適切な主題を設けて追究し、世界の地理的認識を深める。また、世界のさまざまな地域調査における視点と方法を身に付ける。 |
| 歴史 | 古代までの日本③ | <ul style="list-style-type: none"> 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立にいたる過程、摂関政治を通して理解させる。 国際的な要素を持った文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを、具体的な事例を通してとらえさせる。 |
| | 中世の日本① | <ul style="list-style-type: none"> 武家政権が誕生して、武士の支配が次第に全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解させる。 |
| | 中世の日本② | <ul style="list-style-type: none"> モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接な関わりが見られたことや、それが国内の政治に影響をおよぼしたことを理解させる。 |

| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
|-----------------|-----|----------------|
| 社会的事象への関心・意欲・態度 | 25% | 提出物・授業態度・定期テスト |
| 社会的な思考・判断・表現 | 25% | 定期テスト・提出物 |
| 資料活用の技能 | 25% | 定期テスト・提出物 |
| 社会的事象についての知識・理解 | 25% | 定期テスト |

数学【1年2学期】

| | | |
|------------------|---|----------|
| 単元 | 到達目標 | |
| 2章 文字の式 | <ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりする。 | |
| 3章 方程式 | <ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を等式・不等式に表すことができる。 ・方程式とその解の意味を理解し、一元一次方程式を解くことができる。 ・方程式や比例式を問題解決に利用することができる。 | |
| 4章 比例と反比例 | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象から比例・反比例の関係を見出し、式に表したり、式から性質を理解したりすることができる。 ・座標平面を使って比例・反比例の関係をグラフに表すことができる。 ・表・式・グラフから比例・反比例の性質を理解し、活用することができる。 | |
| 5章 平面図形 | <ul style="list-style-type: none"> ・図形の移動について理解し、作図ができる。 ・定規とコンパスだけを使った正しい作図の方法を理解し、基本の作図ができる。 ・基本的な作図を利用して、いろいろな作図ができる。 ・円やおうぎ形の性質を理解し、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 | |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
| 数学への関心・意欲・態度 | 25% | 提出物、授業態度 |
| 数学的な見方や考え方 | 25% | 定期テスト等 |
| 数学的な技能 | 25% | 定期テスト等 |
| 数量や図形などについての知識理解 | 25% | 定期テスト等 |

理科【1年2学期】

| 分野 | 単元 | 到達目標 |
|-----------------|---|--|
| | 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象 | <ul style="list-style-type: none"> ・光の反射や屈折の実験をから、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を理解する。 ・凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きを見だし、光の道筋が作図できる。 ・音は物が振動することによって生じることに気づく。 音についての実験を行い、音の大小、高低のしくみを知り、音の性質を理解する。 ・力の種類、はたらき、大きさの測り方を理解する。 ・矢印を使って力を表す作図ができる。 ・物体に働く2力について力が釣り合うときの条件を見いだして理解することができる。 |
| 1分野 | 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化 | <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの物質の固有の性質と共通の性質を理解する。 ・身近な物質の性質を調べる実験操作（ガスバーナーや電子天秤）が身につく。 ・金属の性質について理解する。 ・密度を調べることで物質が区別できる。また、密度を計算で求めることができる。 ・プラスチックの種類や性質の違いを知り、さまざまな用途で用いられていることに気づく。 ・気体を発生させる実験を行い、気体の種類による特性を見いだすとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能が身につく。 ・粒子の考え方で、水溶液の性質、質量パーセント濃度、状態変化について理解する。状態変化に関しては質量や体積変化についても理解する。 ・水溶液から溶質を取り出す方法を理解する。 ・状態変化により、物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだす。 ・物質は融点や沸点を境に状態が変化することや沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだす。 ・蒸留により混合物からより純粋な物質が分離できることを理解する。 |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
| 自然事象への関心・意欲・態度 | (25%) | 定期テスト・提出物・授業への取り組み・ワークシート |
| 科学的な思考・表現 | (25%) | 定期テスト・ワークシート |
| 観察・実験の技能 | (25%) | 定期テスト・ワークシート |
| 自然事象についての知識・理解 | (25%) | 定期テスト・小テスト・ワークシート |

英語【1年2学期】

| 単元 | 到達目標 |
|---|--|
| Presentation 1 自己紹介 | <ul style="list-style-type: none"> Unit 4 までに学んだ表現を使って、自分の名前や好きなことについて3文以上の英文を書いて発表したり、友達の発表を聞いて質問し合ったりすることができる。 |
| Unit 5 学校の文化祭 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が知らないものについて、何かをたずねたり、たずねられたものについて答えたりすることができる。 料理の味や教科のおもしろさなどについて感想を言うことができる。 朝食に何を食べるかをたずねたり、答えたりすることができる。 |
| Daily Scene 1 | <ul style="list-style-type: none"> 相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。 |
| Unit 6 オーストラリアの兄 | <ul style="list-style-type: none"> 友達や家族などについて紹介することができる。 自分と相手以外の人についてたずねたり、答えたりすることができる。 自分と相手以外の人が「・・・しない」ということを説明することができる。 |
| Daily Scene 2 | <ul style="list-style-type: none"> 電話で、相手を招待したり、さそったりする対話をするすることができる。 |
| Listening Activity2 | <ul style="list-style-type: none"> 簡単な自己紹介のスピーチを聞いて、要点を聞き取ることができる。 |
| Unit 7 ブラジルから来たサッカーコーチ | <ul style="list-style-type: none"> 知らない人がだれなのかをたずねたり、質問に対して答えたりすることができる。 時刻をたずねたり、時刻を伝えたりすることができる。 「どちらが・・・か？」ということをとずねたり、質問に答えたりすることができる。 |
| Daily Scene 3 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に合わせて、いろいろなカードを書くことができる。 |
| Unit 8 イギリスの本 | <ul style="list-style-type: none"> 持ち物などがどこにあるかをたずねたり、答えたりすることができる。 だれの持ち物なのかをたずねたり、答えたりすることができる。 人や物語の主人公などについて、「彼を」「彼女を」などと言いかえながら対話を続けることができる。 |
| Daily Scene 4 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の学校について、3文以上の英語で書くことができる。 |
| Unit 9 チャイナタウンへ行こう | <ul style="list-style-type: none"> 今していることについて説明することができる。 今していることについてたずねたり、答えたりすることができる。 相手に何かを禁止したり、注意をしたりすることができる。 |
| Daily Scene 5 | <ul style="list-style-type: none"> 徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。 |
| Listening Activity 3 | <ul style="list-style-type: none"> 交通情報を聞いて、それぞれの路線が現在どのような状況であるか聞き取ることができる。 |
| Presentation 2 一日の生活 | <ul style="list-style-type: none"> Unit 9 までに学んだ表現を使って、自分の毎日の習慣や一日の生活について3文以上の英文を書いて発表したり、友達の発表を聞いて質問し合ったりすることができる。 |
| コミュニケーションへの関心・意欲・態度（30％）・・・授業態度、提出物等 適切な英語を使って表現することができる（20％）・・・定期テスト、暗唱テスト、スピーチ等 まとまった英語を読んで、内容を理解することができる（20％）・・・定期テスト、提出物等 言語や文化についての知識・理解（30％）・・・定期テスト、小テスト等 | |

音楽【1年2学期】

| 分野 | 単元 | 到達目標 |
|-----------------|---|---|
| 表現 | <p>日本の歌の美しさを味わい、その情景にあった表現を工夫しよう</p> <p>楽器や奏法の特徴を生かして演奏しよう。〈リコーダー〉</p> <p>箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう</p> <p>リズムアンサンブルの表現を工夫しよう</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 曲想などに応じた指揮表現に主体的に取り組み、基本的な指揮表現を身につけ、表現の意図を示している。 • 旋律のまとまりや強弱、拍子の流れを感じ取って、表現を工夫できている。 • 基本的な奏法を理解して演奏している。 • 曲想にあった表現を工夫し演奏できている。 • 和楽器の特性を意欲的に感じ取って演奏している。 • 基本的な奏法について理解し、演奏している。 • リズムアンサンブルの表現に意欲的に取り組み、リズムの重なり方に注目しながら演奏できている。 |
| 鑑賞 | 詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう | <ul style="list-style-type: none"> • 声やピアノの音色、登場人物の心情や情景を表した旋律、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受している。 • 知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想のかかわりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし言葉で説明できる。 |
| 創作理論 | 音の長さ・音楽記号 | <ul style="list-style-type: none"> • 音楽表現に必要な理論について、主体的に学習し、その理論について知識を深めている。 |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
| 関心・意欲・態度 (25%) | | 提出物・忘れ物・取り組み姿勢・ワークシートなど |
| 表現の創意工夫 (25%) | | リコーダーテスト(2回)、リコーダーワークシート、指揮テスト |
| 表現の技能 (25%) | | リコーダーテスト(2回)、リズムアンサンブル |
| 鑑賞の能力 (25%) | | 鑑賞プリント・小テスト |

体育【1年2学期】

| | 単元 | 到達目標 | | |
|----------------|--|---|-----|-----|
| 保健 体育 男子 | <ul style="list-style-type: none"> 器械運動 陸上競技 バスケットボール | <ul style="list-style-type: none"> 技に挑戦し、マット運動では連続技がなめらかにできるようにする。 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち技術の名称や行い方などを理解するとともに、基本的な動きや効率の良い動きを身に着けること。 基本的技能（個人技能）を身につけ、ゲーム（集団技能）に活かして楽しくバスケットボールができるようにする。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 保健(心身の機能の発達と心の健康) 体育理論 | <ul style="list-style-type: none"> 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。 運動やスポーツの多様性を理解できるようにする。 | | |
| | 通知票の観点別学習状況の評価対象と内容 | <ul style="list-style-type: none"> 運動の技能……………実技テスト 関心・意欲・態度・授業態度、忘れ物、見学、出欠状況 | 25% | 25% |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 思考・判断……………ファイル提出 実技テスト 授業の様子 知識・理解……………定期テスト ワーク提出 | 25% | 25% |
| | | 計100% | | |

| | 単元 | 到達目標 | | |
|----------------|---|---|-----|-----|
| 保健 体育 女子 | <ul style="list-style-type: none"> 器械運動 陸上競技 剣道 | <ul style="list-style-type: none"> 技に挑戦し、マット運動では連続技がなめらかにできるようにする。 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち技術の名称や行い方などを理解するとともに、基本的な動きや効率の良い動きを身に着ける 武道の礼儀や竹刀の使用方法を知り、基本的技能を身につける。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 保健(心身の機能の発達と心の健康) 体育理論 | <ul style="list-style-type: none"> 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。 運動やスポーツの多様性を理解できるようにする。 | | |
| | 通知票の観点別学習状況の評価対象と内容 | <ul style="list-style-type: none"> 運動の技能……………実技テスト 関心・意欲・態度・授業態度、忘れ物、見学、出欠状況 | 25% | 25% |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 思考・判断……………ファイル提出 実技テスト 授業の様子 知識・理解……………定期テスト ワーク提出 | 25% | 25% |
| | | 計100% | | |

美術【1年2学期】

| 分野 | 単元 | 到達目標 |
|-----------------|-----------------------|--|
| 鑑賞 | 鑑賞との出会い (現代アート) | 身近にある美術を感じることができる |
| | | 自分らしい造形的なものの見方・感じ方を深めることができる |
| 工芸 | 暮らしに息づく木の命 (寄せ木) | 使う場面を思い描いてつくりたいものを発想し、材料の特徴を生かした表現になるように構想を練ることができる。 |
| | | 木の特性を理解し、材料や用具の生かし方を工夫して表現することができる。 |
| | | 作品に込めた思いや工夫を発表し、作品のよさについて感じることができる。 |
| 絵画 | なぜか気になる情景 (アートグラス) | 気になる場所から、表したい主題を明確にして表現の構想を練ることができる。 |
| | | 材料の特性を生かして、画面構成や配色などを工夫して表現することができる。 |
| | | 気になった場所をどのように工夫して表現しているかを話し合い、感じ取ることができる。 |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
| 関心・意欲・態度 | (25%) | 授業態度(提出物、提出期限)、Fシート |
| 発想や構想の能力 | (25%) | 計画表 |
| 創造的な技能 | (25%) | 作品 |
| 鑑賞の能力 | (25%) | 鑑賞シート、自己評価表 |

技術家庭【1年2学期】

| 分野 | 単元 | 到達目標 |
|---------------------|-----------|---|
| (技術) 材料と加工に関する技術 | 材料 | 材料それぞれの特徴を知り、製作品に適した材料を選ぶことができる。 材料と環境とのかかわりを知り、材料の使い方について考えることができる。 |
| | 設計 | 目的に応じた製作品を考えることができる。 さまざまな加工方法を知り、製作品の加工方法を考えることができる。 製作品を図に表す方法を理解し、製作品のための図をかくことができる。 |
| | 製作 | 工具や機器を安全に使用することができる。 部品加工、組み立て及び仕上げ作業が正確にできる。 |
| (家庭分野) 衣生活と自立 | 日常着の手入れ | 衣服の状態に合わせた、適切な手入れができる。 衣服の補修ができる。 |
| | 布を用いた物の製作 | 製作に必要な材料・用具、目的に合った縫い方などを知る。 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。 衣服に関心を持ち、課題をもって衣生活について工夫し、計画を立てて実践できる。 |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
| 家庭生活・技術への関心、意欲、態度 | 25 % | 提出物・授業態度 |
| 生活を創意工夫する能力 | 25 % | 定期テスト・提出物・授業態度・実習製作品 |
| 生活の技能 | 25 % | 定期テスト・提出物・授業態度・実習製作品 |
| 家庭生活・技能についての知識・理解 | 25 % | 定期テスト |